

歴 (その4)

【例題】うるう年の1月7日が月曜日のとき、5月4日は何曜日ですか？

《解答》

$$1\text{月}、3\text{月}、5\text{月} = 31\text{日} \quad 4\text{月} = 30\text{日} \quad 2\text{月} = 29\text{日}$$

$$\begin{aligned}1\text{月}7\text{日} \sim 1\text{月}31\text{日} &= 31 - 6 = 25 \text{ 日} \\5\text{月}1\text{日} \sim 5\text{月}4\text{日} &= 4 \text{ 日}\end{aligned}$$

1月7日から5月4日までの日数は

$$25 + 29 + 31 + 30 + 4 = 119$$

$$119 \div 7 = 17$$

あまりなし \Rightarrow 月曜日

答え：月曜日

(解説) うるう年の2月は1日多く29日間。

【例題】ある年は平年で1月5日は水曜日です。翌年の1月5日は何曜日ですか？

《解答》

$$1\text{年後} = 365\text{日後}$$

$$365 \div 7 = 52 \text{ あまり } 1$$

あまり1 \Rightarrow 水曜日の次の曜日

答え：木曜日

(解説)

7で割り切れる日数後で曜日を考えるのが基本ですが、1年後は+1曜日と定義として覚えましょう。

(次のページに続く)

【例題】ある年はうるう年で1月2日は日曜日です。翌年の1月2日は何曜日ですか？

《解答》

$$1\text{年後} = 366\text{日後}$$

$$366 \div 7 = 52 \text{あまり } 2$$

あまり1 ⇒ 日曜日の二日後の曜日

答え：火曜日

(解説)

7で割り切れる日数後で曜日を考えるのが基本ですが、うるう年で2月29日をまたぐ1年後は+2曜日と定義として覚えましょう